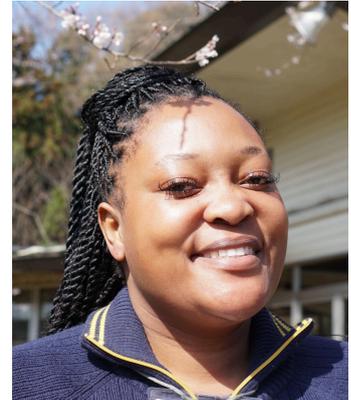


リリー・シンゲレンゲレ (リリー)

緑の農業 青年の会 (GAYO)

ザンビア・ルサカ州チョングウェ郡

民族 / 部族: ザンビア
母語: 英語
宗教: キリスト教
職業: 代表取締役



仕事について：

「気候変動によって生じた、近年の作物の不作を経験した後、若者たちは自身が被った損失から目を背けようとしています。新しい解決策があれば、より多くの若者たちが農業の将来を再考し、再構築することを後押しできると感じています。」

リリー・シンゲレンゲレは、ザンビアの農村で持続可能な農業と若者の権利や能力を高める活動を推進する緑の農業 青年の会 (GAYO) の創設者であり、最高経営責任者 (CEO) でもあります。彼女は、革新的で気候変動に強い農業技術を、若い農民や農村コミュニティに教えています。最近では、クリーンエネルギーによる代替調理、デジタルマーケティング、新規就農者向け菜園、害虫駆除に関するワークショップの企画・運営に携わってきました。

彼女のコミュニティでは、干ばつ、洪水、害虫の発生が農業生産を圧迫し、食料、健康、水、衛生面での不安が広がっています。リリーの目標は、アグロフォレストリーを促進することによって、地元の農家を生活向上のための資源と結びつけることにあります。

アジア学院では、持続可能な農法についての理解を深め、農業を若者にとって魅力的なビジネスにするためのより良い方法を見つけたいと願っています。「農業をビジネスとして機能させる方法を学べば、私のコミュニティにおける農業のあり方は、間違いなく変化するでしょう。」

送り出し団体について：

緑の農業 青年の会 (GAYO) は、ザンビアのルサカ州で、農業における女性と若者の権利・能力の向上に焦点を当てて活動しています。団体は、気候変動に対する農村コミュニティの脆弱性を認識し、女性と若者がアグロエコロジーを通じてレジリエンス運動に貢献できる可能性を信じています。リリーは帰国後、コミュニティのリーダーたちを対象に、気候変動に配慮した農業の実践について指導し、GAYOの活動範囲を広げることで、周期的な飢餓と貧困の削減を目指します。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)